2022年12月8日 令和4年度 国総研講演会

都市分野の研究開発の最新動向 ~気候変動への対応を中心として~

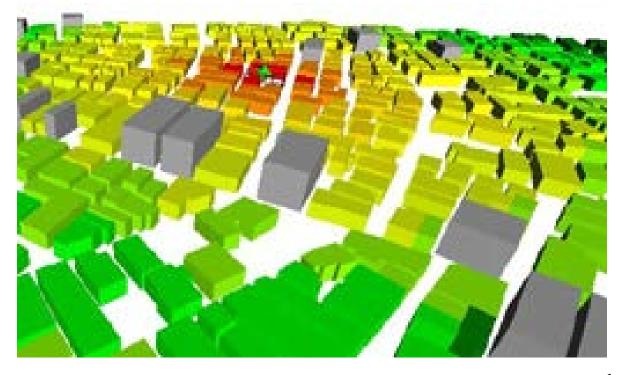
国土技術政策総合研究所 都市研究部長

村上 晴信

都市研究部の研究テーマ

国や自治体の施策立案につながる研究

- 建築基準法(集団規定)、都市計画法
- 都市構造の集約化、団地再生
- 密集市街地、都市防災
- 宅地防災
- 都市公園
- パブリックスペース
- ヒートアイランド
- ビッグデータ
- 3D都市モデル
- 緑視率
- スマートシティ など



スマートシティとは

スマートシティ・・「Society 5.0」の社会実践の場。 都市問題の解決を図る。



出典:内閣府HP

地方公共団体、企業の状況

国総研:スマートシティに関する研究を実施(R2-R4度)

都市問題に対する新技術の導入・運用にあたっての課題

地方公共団体

企業

抱えている<u>都市問題の解決</u>に どのような新技術が活用 できるのか? 保有する<u>新技術を</u> どのような都市問題の解決に <u>活用</u>できるのか?

都市問題と新技術のマッチング

に関する情報共有が必要

スマートシティ事例集【導入編】

- 国総研は「スマートシティ事例集【導入編】」を公開。
- URL http://www.nilim.go.jp/lab/jbg/
- 都市問題に対して導入可能性のある新技術を1対1 で紹介(全国76事例)。



事例集のイメージ(目次)



事例集のイメージ(各事例)



National Institute for Land and Infrastructure Management

▲ 福市間頭の一覧へ戻る | 新技術の一覧へ戻る | 地方公井団体の一覧へ戻る

都市問題と新技術の組合せ

H03 高齢者・子どもの見守り × b03 BLEタグ検知

都市問題

高齢者・子どもの見守り

- □ 認知症の行方不明者発生件数の増加により、警察や地域ボランティアによ る捜索に多くの時間や人手が必要。
- 高齢者が関係する交通事故の増加。
- 一人口減少が進み、人口密度が低下している地域において、子どもたちの見 守り活動の維持が困難。

新技術

BLEタグ検知

- □ BLE (Bluetooth Low Energy) は、免許なく使える2.4GHz帯の電波を用 い、最大1Mbpsの通信が可能。対応チップは従来のビーコンの1/3程度の 電力で動作することができ、ボタン電池一つで数年稼働可能。
- □ 行方不明者の捜索など、市民生活の安全確保 に活用可能。
- □ 域内に設置した見守りカメラにBLEタグを検 知できる検知器を同梱。



BLEタグの例





出典:知古川市スマートシティ実行計画

新技術導入により期待される都市問題解決の効果

- □ 利用者にとって・・・ 高縮者、子ども、および家族がともに安心して暮 らせる。
- □ 地域・自治体にとって・・・ 認知症のある方が外出して家に帰れなくな る、行方不明事案に対応し、捜索の負担を軽減。見守り高度化による犯罪 抑止力が向上。

新技術の適用条件

- □ プライバシーや個人情報の保護との再立と、それに対する市民との合意形成。
- □ カメラを設置する電柱や土地等の所有者との誤整。

【併せて参照いただきたい項目】

- ✓ H03 高齢者・子どもの見守り×a01 ローカル5G
- 4 a03 低消費電力・広域通信(LPWA)
- ✓ b04 防犯カメラ網

見守りサービスイメージ

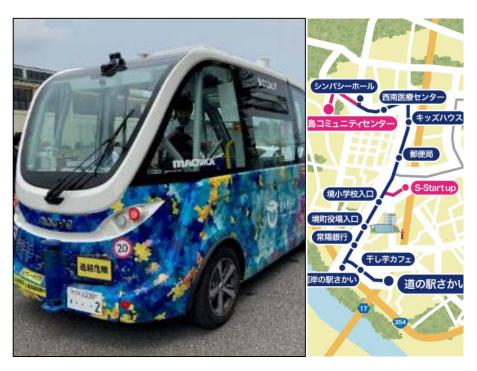


都市問題 × 新技術 (組み合わせ例)

「水位の監視」 × 「防災モニタリング」

「公共交通利用促進」 × 「自動運転技術」





(京都府福知山市)

(茨城県境町)

出典左: (株)サンポール、ユアサ商事(株)、応用地質(株)記者発表資料、2020年3月24日

出典右: 茨城県境町HP

気候変動関係(都市問題 × 新技術)



National Institute for Land and Infrastructure Management

掲載事例一覧 【都市問題の分類別】 4/4

SEQ	■都市問題		■新技術		
番号	大分類	小分類	大分類	小分	類
62	防災	G01 災害情報の共有・共同利用	データ基盤	d01	デー
63		G02 浸水対策	観測	b07	水位·
64			データ活用	f07	河川;
65		G03 積雪状況の把握	観測	b08	積雪
66		G04 土砂災害の情報発信	ビッグデータ	e01	地形
67		G05 津波災害の情報発信			
68		G06 避難誘導	通信	a02	地域広
69				a03	低消

災害情報の共有 × データプラットフォーム (加古川市)

災害時に、避難所の状況把握、市民への情報提供が必要

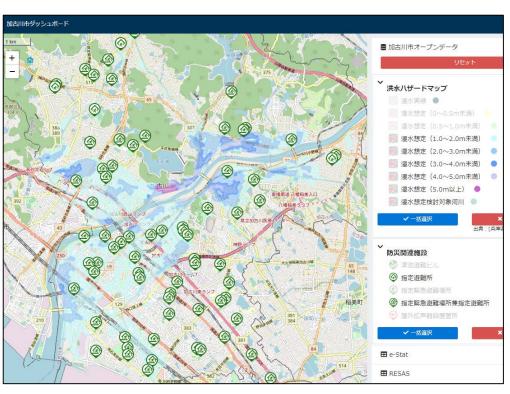
FIWAREでデータ公開用の 情報連携基盤を構築



出典

かこがわICTまちづくり協議会、スマートシ ティの実装に向けた検討調査(その11)報告 書、令和3年3月

<u>ダッシュボード</u>で防災情報を提供



<u>加古川市ダッシュボード (opendata-api-kakogawa.jp)</u>

浸水対策 × 水位センサー(高松市)

水害時において、用水路の水位確認は、自治体職員の巡回、住民の任意通報によっている。

用水路の<u>水位センサー</u>を <u>IoT基幹ネットワーク</u>に接続し、 <u>常時モニタリング</u> 設置イメージ

ダッシュボードで <u>データを可視化</u>





出典 スマートシティたかまつ事業概要(香川県高松市)

積雪状況 × 積雪情報遠隔監視システム(福井県)

夜間見回り、除雪車出動判断等のため、積雪状況の遠隔監視が必要

遠隔監視 技術の例

夜間の除雪状況







左写真:<u>積雪深自動モニタリングシステム YUKIMI (axelmark-iot.jp)</u> 右図:<u>福井県防災ネット (fukui.lg.jp)</u>

中写真:永平寺町スマートシティ事業の資料より抜粋

津波災害 × 地形・地盤(3次元点群)データ (静岡県)

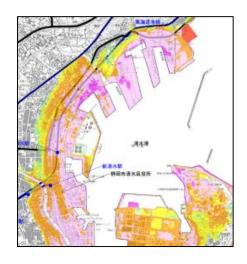
市民は<u>津波被害をリアルに体感</u>。意識啓発。 災害発生時に<u>速やかな被害把握</u>が可能。

<u>3Dビューアソフト</u>による 津波浸水想定イメージ



出典:静岡県資料

津波浸水想定図



点群データ取得





土砂災害 × 地形・地盤(3次元点群)データ (静岡県)

土砂災害による交通インフラの分断で、孤立化や災害復旧が遅延化

<u>点群データの比較</u>により<u>地形差分</u>を抽出

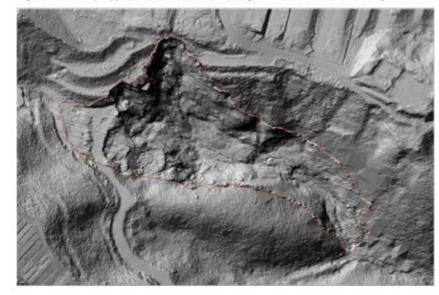
(2020年VIRTUAL SHIZUOKA) 16点/m2



オープンデータ (CC-BY4.0)

出典:静岡県資料

(2021年被災後県取得) 120点以上/m2



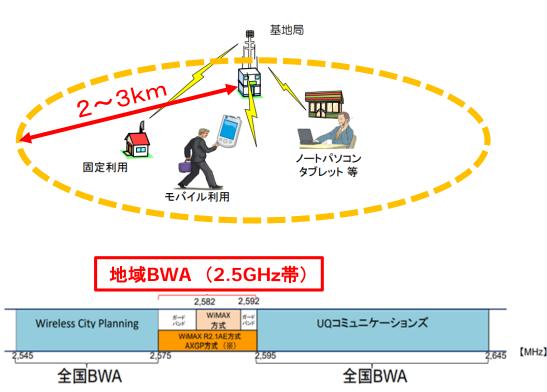
オープンデータ (CC-BYとODbLのデュアルライセンス)

避難誘導 × 地域広帯域移動無線アクセス(地域BWA)(木曽岬町)

- <u>災害発生時は</u>、Wi-Fi電波が途切れ、キャリアの通信通話もつながりにくい。
- 避難誘導のため安定した通信環境が必要。

地域BWA

- <u>地域に割り当て</u>られた電波帯を利用する<u>高速データ通信を行うサービス。</u>
- 比較的混戦が少ない。避難者に安定した通信環境を提供可能。



出典:総務省資料「地域BWA制度の概要 Ver.3.8」

指定避難所の公衆Wi-Fiサービス



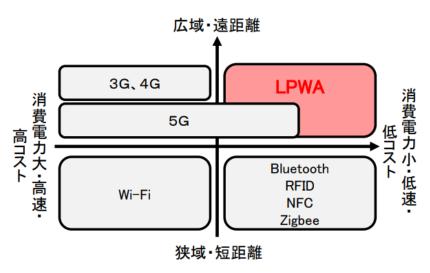
出典:三重県木曽岬町HP「ICT/IoT先進事業 地域BWAを活用した安全・安心まちづくり」

避難誘導 × 低消費電力·広域通信(LPWA) (美波町)

- <u>災害発生時に</u>、IoT基盤である<u>止まらない通信網</u>の構築が必要
- 住民への正確な情報提供、家族の位置確認、要避難支援者の状況把握

LPWA

- <u>省電力で、広域・遠距離</u>をカバーできる<u>無線通信技術。</u>
- 通信データ量が少ない。遠隔操作・遠隔監視に適している。



出典:総務省「情報通信白書(令和2年)」



出典:徳島県美波町「スマートシティの実装に向けた 検討調査(その14)調査報告書」



ありがとうございました

http://www.nilim.go.jp/lab/jbg/

